

急性心筋梗塞入院死亡率

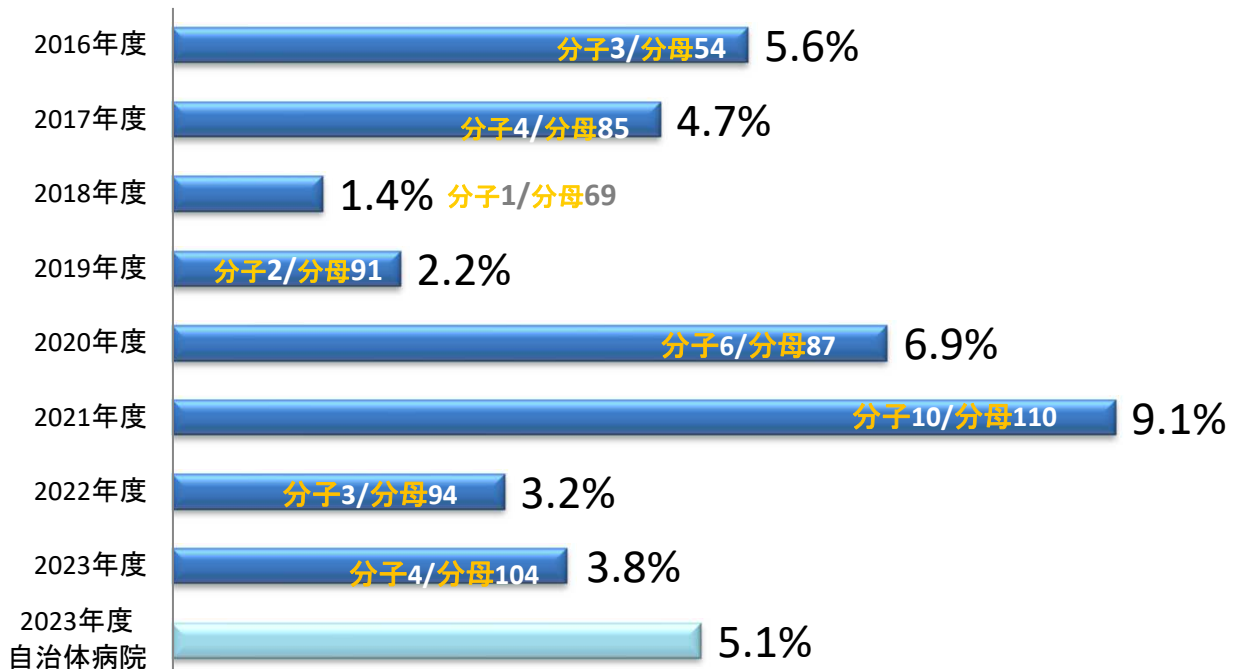
【指標の説明】

成人死亡原因第2位の心疾患のうち、重篤な心疾患である急性心筋梗塞は病院への来院時すでに重症となっていることがあります。それ以外にも糖尿病や動脈硬化、高齢であったりすると死亡率が高くなることがあります。このように個々の患者さんの状態によって異なるため、年度別の比較は困難です。

【定義】

全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」の定義に準じています。

分子	分母のうち、在院期間14日以内の急性心筋梗塞に起因する死亡数
分母	急性心筋梗塞で入院し急性期PCIが施行された患者数(救急室での死亡を除く) ・入院契機病名及び医療資源病名がI21\$ ・下記のいずれかの手術を実施(90分以内かどうかは問わない) - 経皮的冠動脈形成術(急性心筋梗塞) - 経皮的冠動脈形成術(不安定狭心症) - 経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞) - 経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症)



数値比較: 全国自治体病院協議会公表データのうち2023年度平均値(0を除く)